

有の國民性を無くすると云ふ考へを以て支那の文明に接したのではない、却つて出来るだけ支那の文明を排斥してしまつて、支那の文明は自分の國には入れないやうに自分の國民性を失はないやうに、若し支那文明の感化を受けて自分の國の特性を失つてしまへば自分の國の滅亡であるから、その感化を受けないやうに、受けないやうにと云ふ方針をとつて來たのである、それにも拘らず遂に支那の文明に化せられてしまふと云ふことになつてしまつたのであります、例へば前に金の朝廷は非常に支那文明化したことが著しいと云ふことを申上げたのであります、それについては有名な金の世宗と云ふ天子は極力支那文明を排斥したことは誰も知つて居る通りである。世宗より以前にも既に第二代目の太宗と云ふ天子なども、力めて支那の文明にかぶれないやうにと云ふ態度をとつて居る、それで例へば文字の如きにしましても、その模範を支那の文字にとつたと云ふことは仕方ないとしましても、兎に角自分の國の文字を作つてこれを用ゐて居る、これは金に始らない、御承知の通りすでに契丹に……契丹文字と云ふものが作られましたしてその文字で自分の國の言葉を寫して居る、後の元でも乃至清朝でも同じことである、宋の時代に陝西地方に據つた西夏の如きもやはり文字を作つて居る、古くは元魏でもその國の言葉で書いた書物が行はれ、日本にも王朝時代にそれが參つて居りましたことは有名な現在書目に載せられて居る所からも明かであります、魏の國語で書いた書物が少なからずあつたと云ふことは隋書の經籍志などを御覽になれば分ることであり、但し魏は別に魏の文字を作つて居つたかどうかよく存じませぬ、あつたかも知れないけれども、今日まで一つもこれが魏の文字だと云ふものが出て來たことがない、或は日本で漢字を用ゐて日本の言葉を寫して居つたと同じやうに、魏の國では漢字を用ゐて魏の言葉を寫して居つたものでなからうかとも思ひますが、その邊ははつきりと申上げる